

事業名

上京に対話の場を広げる活動

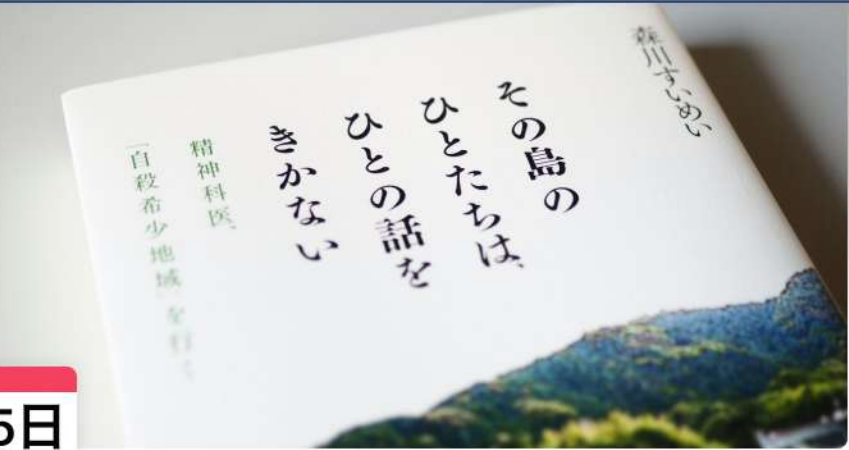
対話＝フィンランドのオープンダイアログ

実施団体

対話之町京都 ヲ目指ス上京

「対話の学びの場」としてリモートで毎週一回/対話形式の読書会を開催。
だれでも無料で参加出来ます。現在も引き続き継続しています。

京都ブライトンホテル向かいに
対話の場「京都ぶんだ」を開設



5日

2022年4月5日火曜日 20:00～22:00

第31回対話之研究会/対話之町京都ヲ目指ス
上京

オンラインイベント

[リンクにアクセス](#)



28

2023年3月28日火曜日 21:00～23:00

第34回「ダイアログ」会読会/対話之研究
会

オンラインイベント

[リンクにアクセス](#)



広めたい「対話」は、フィンランドの「オープンダイアログ」という、
統合失調症がよくなるという対話。また係わるスタッフが仕事を辞めない
という、私たちがまだ知らない言語活動、哲学を学び、地域で実践をする
ことで、人とひとの繋がりの深まりが上京から広がることを目指しています。

10月14日～16日「対話の文化祭」を開催
 15日土曜日には西陣織会館のホールにて
 「上京まちづくりフェア」を
 開催させていただきました。
 上京区内外、全国から300名
 近い方々にご来場頂きました。



上京まちづくりフェアと題して「対話の文化祭」を開催



気軽に話しができた、かつての縁側や井戸端会議
 ばったん床几の復活にと地域に「置きベン」を増設。
 また、置きベンづくりに子ども達が参加することで、
 地域の大人の中で子ども達が育つ、古き良き環境をも
 取り戻せる可能性を模索しています。 本年度も増産予定

子ども達でも作ることができる「置きベン」

お陰様で府外県外の方から上京が「置きベン発祥の地」と言われるようになりました☆

ベンチづくりに捨てられる木材や、
 使われていない資材を使うことで、
 リサイクル、アップサイクルにも
 繋がる活動になっています。



火災で焼け出された木材に価値を与える